

平成26年6月14日

医療介護福祉政策研究フォーラム

第2回 実践交流会

きらくえんの歩みとユニットケアの到達点

社会福祉法人 きらくえん

理事長 市川禮子

法人設立

1982年12月

法人理念

ノーマライゼーション

—地域のなかで1人の生活者としての暮らしを築く—

運営方針

- ・ 人 権 を 守 る
- ・ 民 主 的 運 営

喜楽苑（尼崎市長洲西通）

下町のノーマライゼーションをめざして

1983年4月開設

定員50人4床室中心



特別定額郵便物取扱所

注意
駐車禁止
この区域は
駐車禁止の
区域です
違反した場合は
罰金を課せ
られます

「人権を守る」とりくみの具体化

- ・ 人間の尊厳を守る**
- ・ フライバシーの保持**
- ・ 市民的自由・社会参加の尊重**







民主的運営の具体化 ー地域と共にー

- ・役員の役割と職員のチーム労働
- ・入居者自治会の重要性
- ・家族会の重要性
- ・ボランティアの支援
- ・あまがさき地域福祉事業推進協議会



**喜楽苑地域ケアセンター
あんしん24（尼崎市金楽寺）**

**自宅で暮らし続けることが
できるまちをめざして**

2012年9月開設

在宅福祉サービス8事業



いくの喜楽苑（朝来市生野町竹原野）

**ハードから人権を守る
居住エリアの分散化と全室準個室化**

1992年9月開設

定員58人

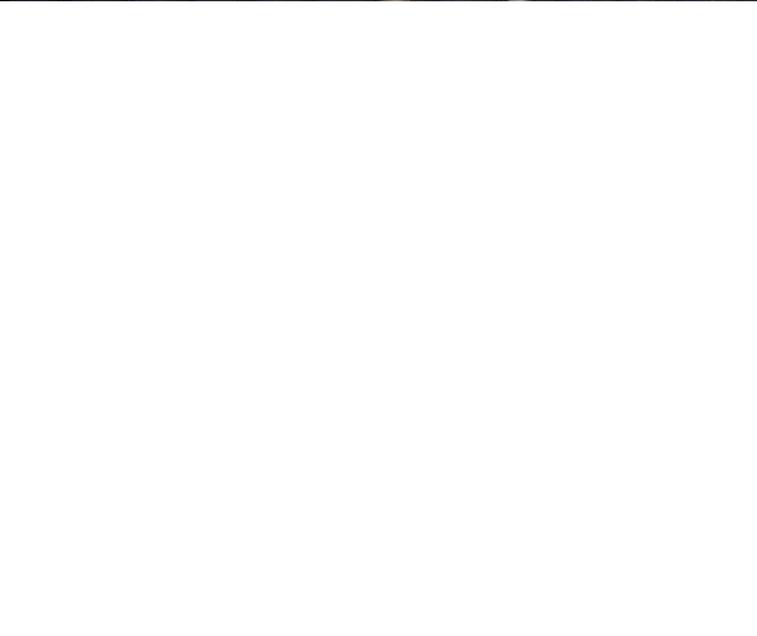














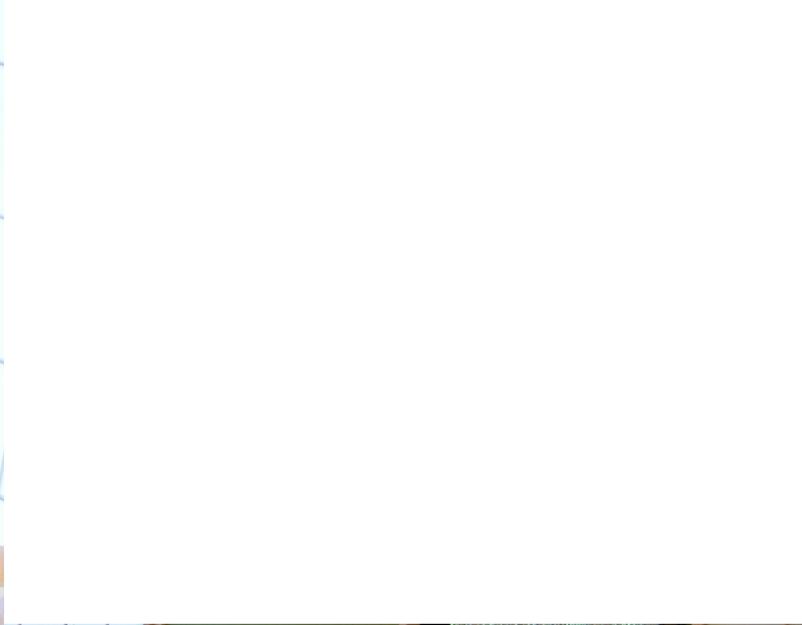
グループホーム竹原野 (朝来市生野町)

2005年4月開設

定員 9人×2ユニット=18人









たまき喜楽苑
小規模多機能型居宅介護施設

民家改修型

2006年4月開設















いくの喜楽苑デイサービス
「元気・とちはら」

旧栃原幼児センターを改修し2011年5月開設







高齢者・障害者地域型仮設住宅
：通称 ケア付仮設住宅 (芦屋市・尼崎市)

1995年4月・5月開設

6棟78人









南芦屋浜・尼崎復興公営住宅 (芦屋市・尼崎市)

スタートした復興公営住宅のシルバーハウジング・
コレクティブハウジングの実践

1998年開設

L・・・Life

S・・・Support

A・・・Advior

生活援助員









あしや喜楽苑（芦屋市潮見町）

「福祉は文化」

—地域の文化の拠点に—

1997年1月開設

定員80人





福祉は文化

定礎

1997年1月

地域交流スペースから真・善・美を

一地域住民と共に1ヶ月4千人が集うー

喫茶店、ギャラリーは大繁盛

緑と花と国際交流

ボランティアは実数350人

地域のスポット

喫茶店 り・らん



多彩な個展が開かれる ギャラリー







山登 森米



コソボの子描く戦場 絵見て平和考えて

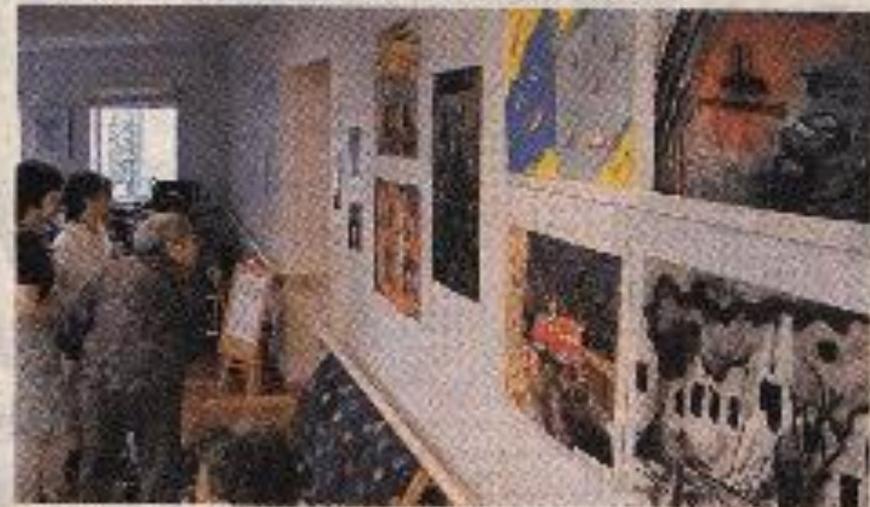
【ロンドン27日ロイター】北米連合軍がコソボに侵襲した際、コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。

コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。

写真30点展示、現地写真も

北米連合軍がコソボに侵襲した際、コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。

コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。



コソボの子供たちが描いた戦場の絵が、ロンドンで展示された。

アザ
テレサ
あふれる愛

撮影 沖 守弘



*When the Day
Breaks of Love
and the world of Peace
is in your hands
and the love of God
is in your heart
and the love of God
is in your heart*



沖 守弘 写真家

1930年東京都生まれ。1954年東京大学文学部卒業。1957年東京大学大学院文学部修士課程修了。1959年東京大学文学部助教授。1963年東京大学文学部教授。1970年東京大学文学部退任。1971年東京大学文学部教授。1973年東京大学文学部教授。1975年東京大学文学部教授。1977年東京大学文学部教授。1979年東京大学文学部教授。1981年東京大学文学部教授。1983年東京大学文学部教授。1985年東京大学文学部教授。1987年東京大学文学部教授。1989年東京大学文学部教授。1991年東京大学文学部教授。1993年東京大学文学部教授。1995年東京大学文学部教授。1997年東京大学文学部教授。1999年東京大学文学部教授。2001年東京大学文学部教授。2003年東京大学文学部教授。2005年東京大学文学部教授。2007年東京大学文学部教授。2009年東京大学文学部教授。2011年東京大学文学部教授。2013年東京大学文学部教授。2015年東京大学文学部教授。2017年東京大学文学部教授。2019年東京大学文学部教授。2021年東京大学文学部教授。2023年東京大学文学部教授。

When the Day
Breaks of Love
and the world of Peace
is in your hands
and the love of God
is in your heart
and the love of God
is in your heart

Prayer for Peace

God please
to heaven

三田谷の歴史と作品展

2011年10月15日(土)～10月23日(日)
三田谷の歴史と作品展
三田谷の歴史と作品展

三田谷の歴史と作品展
三田谷の歴史と作品展

三田谷の歴史と作品展
三田谷の歴史と作品展



芦屋市立湘貝中学校芸術会

芦屋市立湘貝中学校芸術会

（第15回）



2017年 11月1日（土）～14日（日）
14日（日）10時～17時
会場：湘貝中学校美術部活動室



中島 幸



安部 秀美



川上 佳起



富永 静果



金 仁 俊 様
KANENISHI YOUNOSUKE



木 祐 子 様
KIYOSUKI YUKO





地域交流スペースを使った さまざまな集い

日本居住福祉学会設立準備総会



第八回国際シンポジウム

第1部 高福祉社会の国に学ぶ

『スウェーデンにおける福祉サービスの保障』





心ほ「こころの健康教室」
でモーツァルトもおんなもの
Part II
かみや喜楽苑「こころの健康教室」
実行委員会



千里フィルハーモニア

















きらくえん倶楽部大柵町
生活支援型グループハウス
小規模多機能型居宅介護施設

グループハウスに併設

2007年4月開設











けま喜楽苑(尼崎市食満)

全室個室・ユニットケア

2001年4月開設

定員50人

設計コンセプト

- ・ 生命力をしぼませない「施設」づくりー外山教授

五つの生活の落差をなくす

空間の落差 時間の落差
規則の落差 言葉の落差
役割の喪失の落差

- ・ 特養を地域のケア付住宅に一法人
- ・ 定礎に「つなぐ」と刻む - 法人

これまでの生活の継続、

命をつなぐ、人と人をつなぐ、地域をつなぐ、
世紀をつなぐ

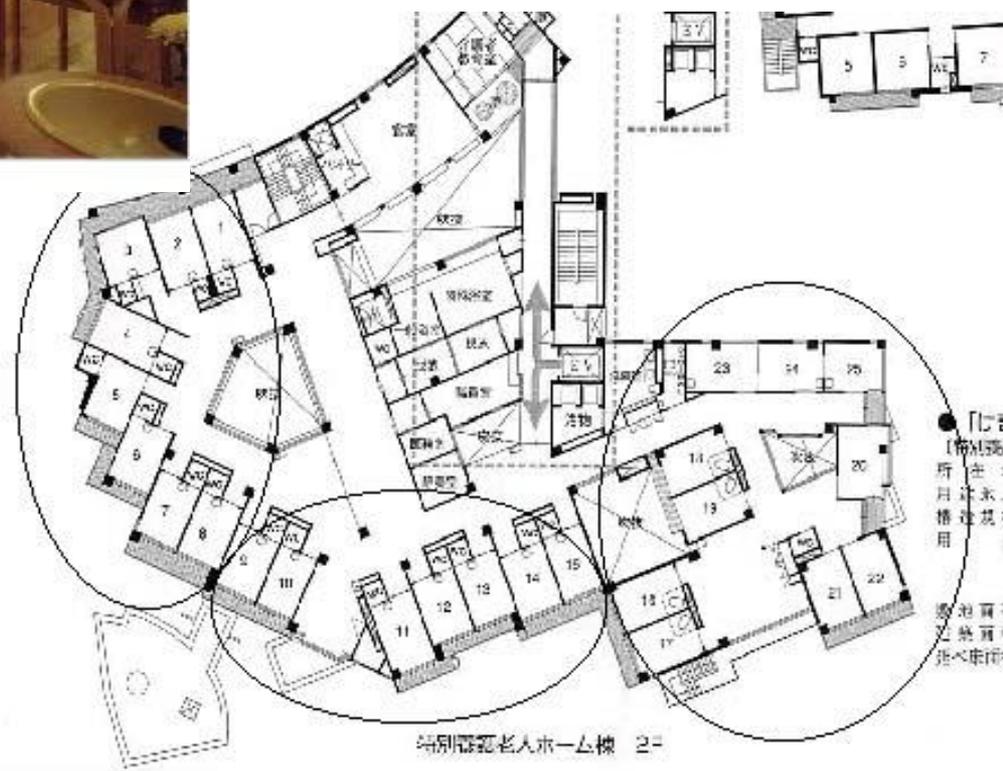




定礎

2001.3





ケアのテーマ

**狭義の「介護」ではなく自立生活を支援する
生活援助の徹底**

- ・ **プライベートゾーン（個室）**
- ・ **セミプライベートゾーン（準個室空間）**
- ・ **セミパブリックゾーン（準公共的空間）**
- ・ **パブリックゾーン（公共的空間）**

の4つの空間を生かすケア。

そして地域へ

個室と入居者・家族(プライベートゾーン)

～入居は引越し～

その人らしい部屋作りと多様な生活展開

引越し







準 個 室 空 間

(セミプライベートゾーン)



準 公 共 的 空 間

(セミパブリックゾーン)







公 共 的 空 間

(ハ°フ°リックゾーン)



食事・入浴・排泄のとりくみ







一人一人にあわせた補助具の徹底

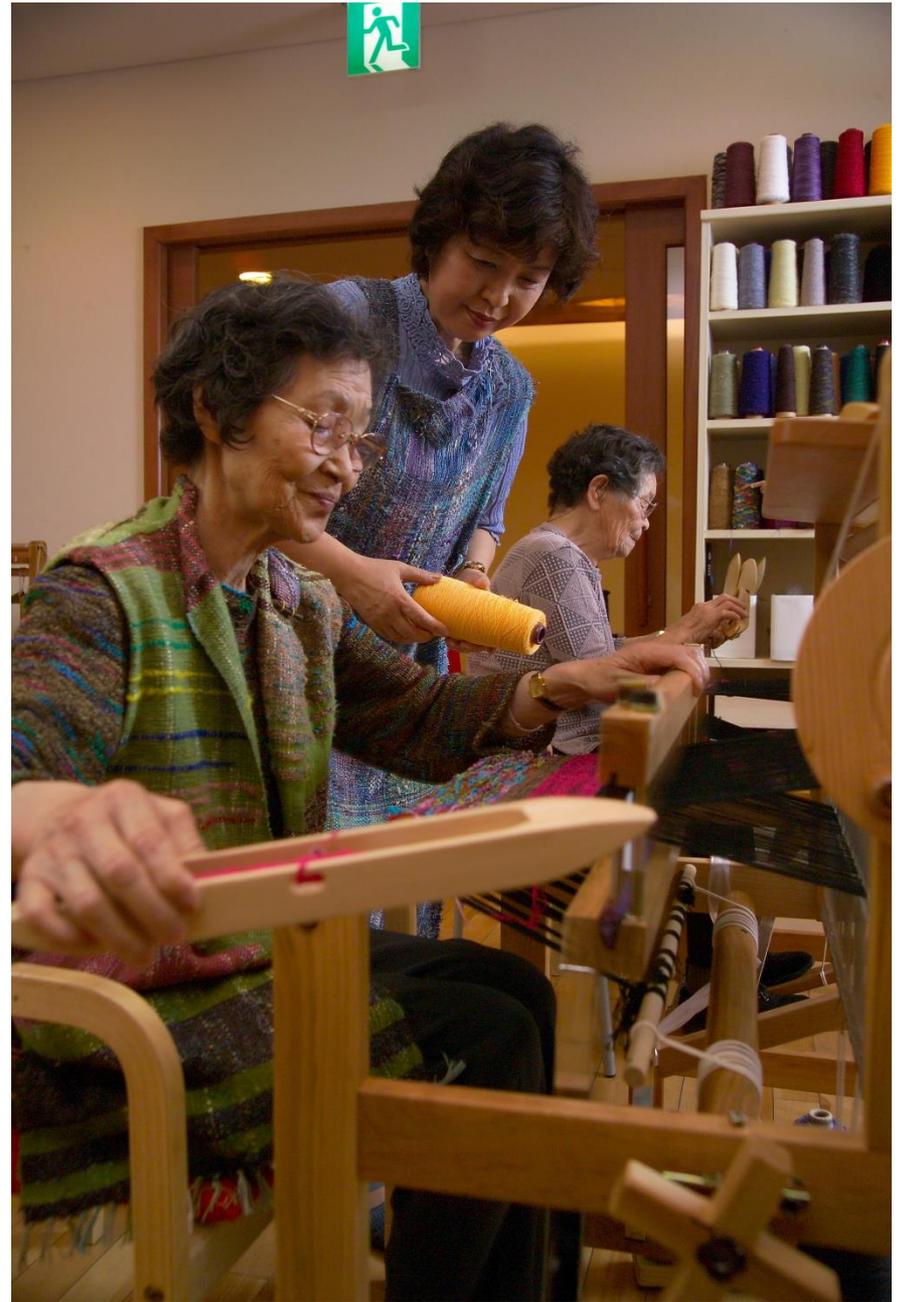
(手すりの廃止)



クラブ活動









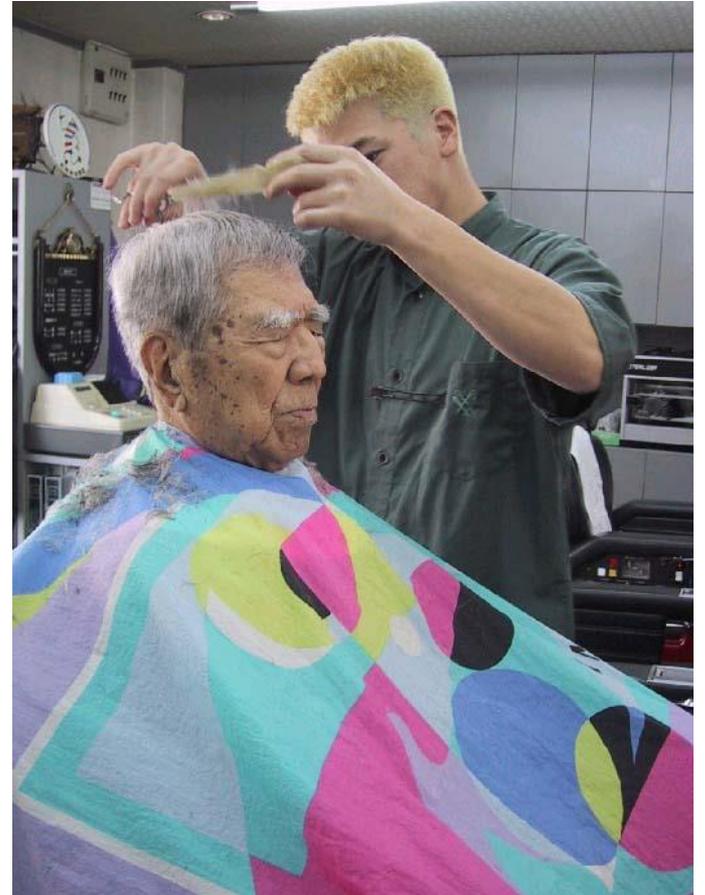
えん展

WELCOME

地域に住む生活者として

















自治会と家族会







地域交流事業





**ケアを受ける場から
生活再編の場へ**

グループホームいなの家 (尼崎市食満)

2001年4月開設

定員 9人×2ユニット = 18人

なじみの環境づくり











取り戻した日常の暮らし



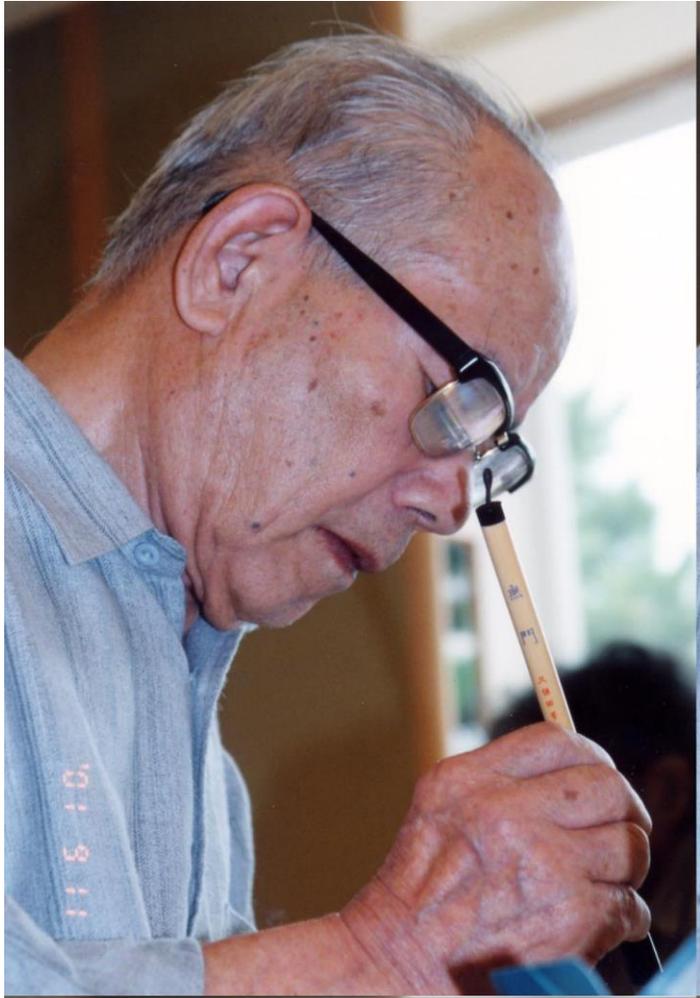


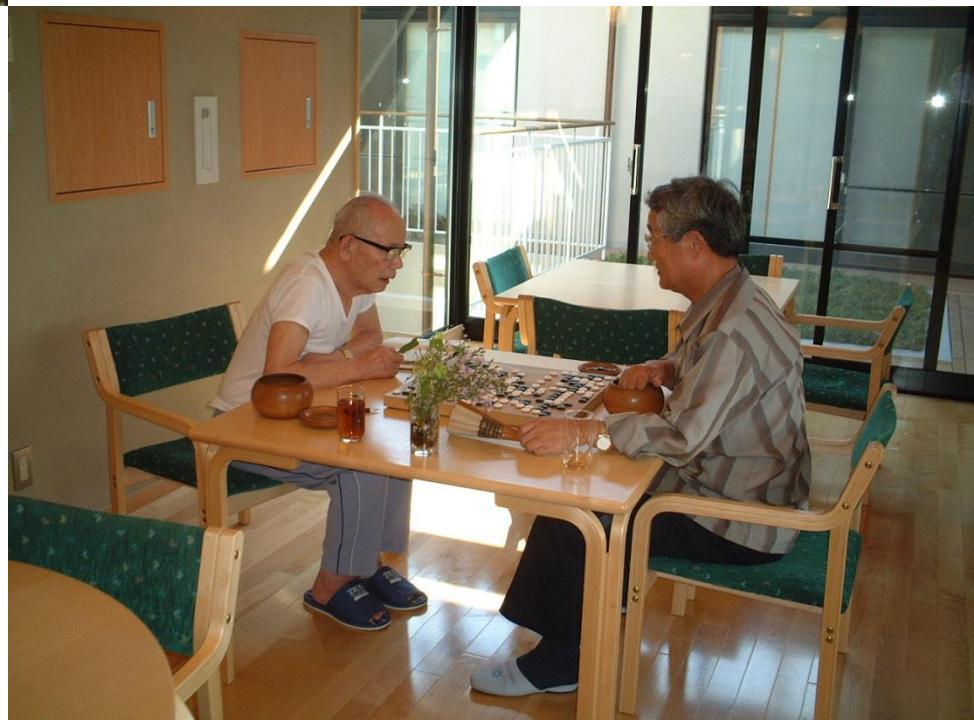


潤いのある暮らしを













祭涼純

けま 苑



社 会 性 の あ る 暮 ら し











自治会と家族会





日本認知症ケア学会・読売認知症ケア賞
「奨励賞」を受賞(2006. 9月)





ターミナルケア

- 「当たり前の暮らし」の継続
- 日常生活の延長上にターミナルがある
- 看取いの主体は「家族」
- 日常から最期について話し合う

入居した日から

ターミナルケアは始まっている



KOBE 須磨きらくえん

**歴史のまちで多世代共生をめざす
ノーマライゼーションのとりくみ**

2012年4月開設



















栽花樂太平













KOBE 須磨さくらえん

特養家族会 設立総会

ケアを受ける場から

生活再編の場へ

















永井志づさんピアノコンサート



人生の最終章こそ きらめく時を